



業務効率を高めて省力化！

「受発注・在庫管理システム」導入事例集

～AI駆動開発で、属人化を排除し少数精鋭で回る現場を作る～

1

迫りくる「人材危機」と業務効率化の重要性

2

「受発注・在庫管理システム」導入事例・ポイント

3

riplaのご支援内容

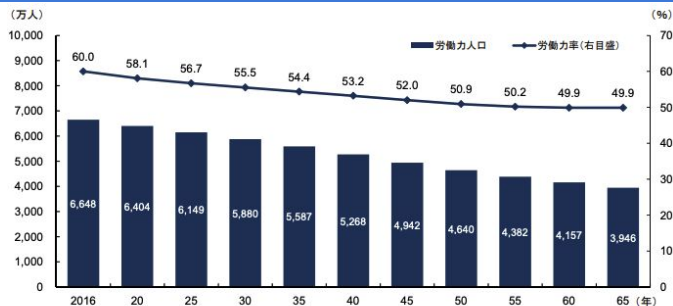
迫りくる「人材危機」と業務効率化の重要性

2026年、現場を襲う「2つの壁」



「人が増えることを前提とした成長モデル」は限界を迎え始めている

労働力人口減少による採用難



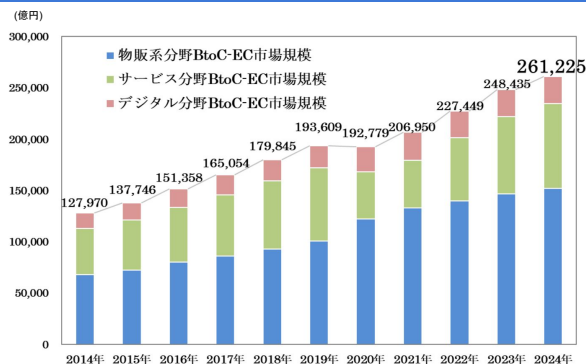
(注) 2016年は実績。2020年以降は、男女別、年齢5歳階級別の労働力率を2016年と同じとして算出 (75歳以上は、2016年の75歳以上の労働力率を75～79歳の労働力率とし、80歳以上はゼロとして算出)。

(資料) 総務省「労働力調査年報」(2016年)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2017年4月推計)より、みずほ総合研究所作成

出典) みずほ総研

2065年には労働力人口が現在の **2/3弱** に
若手を中心に **現場スタッフの採用が困難** となる

ECを中心とした商材ニーズの増加・多様化



出典) 経済産業省

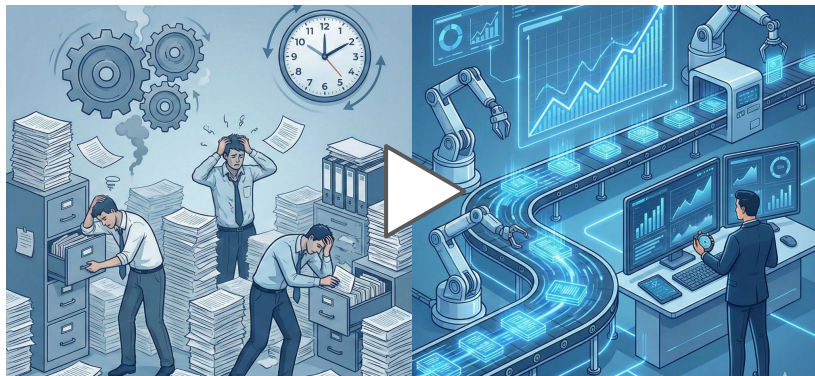
物販・サービス分野を中心に **EC市場拡大**
取引品目も増加し、**関連業務負荷が増大**

業務効率化・現場負荷軽減のためのシステム導入



コア業務により集中し、持続的にビジネス成長するためのシステム投資が有効

システムによる業務効率化



一人あたりスループットの増加や
残業代の削減に効果あり

システムによる現場業務の負担軽減



担当者の離職防止や
ヒューマンエラーの減少に効果あり

「受発注・在庫管理システム」 導入事例・ポイント

受発注工数を75%削減、在庫切れゼロも同時に実現



業種：ウェルネスフード輸入代理店 (BtoB卸販売)

導入前の課題

- 取引先からのExcel発注書をメール・個人LINEでバラバラに受け取っており、注文方法が統一されていなかった
- 発注書の見逃しによる出荷遅延トラブルが発生していた
- リアルタイムの在庫確認ができず、注文後に在庫切れが判明することがあった

導入効果

- 受発注業務時間：1日4時間 → 1時間以内 (約75%削減)
- 発注書の見逃しによる出荷遅延トラブルがゼロに
- 在庫のリアルタイム確認が可能となり、在庫切れゼロを達成
- 出荷センターがシステムを直接確認することで社内連携が自動化され、業務ストレスが大幅に軽減
- 削減した時間をECサイト運営など付加価値業務へ充当可能に



https://biz.conct.jp/voice_supplier/melrosehealth/
をもとに弊社作成

倉庫作業時間を5分の1に短縮。オムニチャネルも実現



業種：アパレル小売（店舗12店舗＋複数ECサイト）

導入前の課題

- 4万点超のアイテムをアナログで管理しておりECの急成長に伴い在庫管理が限界を迎えていた
- 店舗在庫とEC在庫の反映にタイムラグがあり、「在庫あり表示なのに実在庫なし」という欠品トラブルが頻発していた
- 固定ロケーション管理が崩壊し、広い倉庫内で商品が見つからない問題が多発
- 棚卸に業務を全停止して丸一日・大人数をかける必要があり、販売機会ロスが生じていた

導入効果

- 棚入れ作業時間：1日がかかり → 退勤前の1～2時間（約5分の1に短縮）
- ピッキング作業時間：約2分の1に削減。業務が標準化され、入社初日のスタッフでも即対応可能に
- フリーロケーション管理の導入により倉庫スペースを約30%削減
- バーコード管理によりヒューマンエラーと欠品トラブルをほぼ解消
- 部分棚卸が可能となり、業務を止めずに循環棚卸できる体制を実現



<https://www.logizard-zero.com/cases/woody-h.html>
をもとに弊社作成

作業ミスゼロと棚卸し時間75%削減を実現



業種：3PL(梱包・輸送・倉庫保管・通関業務等)

導入前の課題

- ロット・シリアル管理や複数商品を組み合わせた「組み合わせ商品」の管理が増加し、表計算ソフトでの対応が限界に達していた
- 手作業によるピッキングで、品番の近似した医療機器等の取り違いリスクが高かった
- 倉庫外の荷主へはデイリーでデータを送付するしかなかった
- 棚卸し作業に1回**18時間**を要しており、大きな業務負担となっていた

導入効果

- **作業ミス発生数：ゼロ** (稼働後ミス件数ゼロを継続)
- **棚卸し作業時間：18時間 → 4時間** (約**75%削減**・4分の1以下に短縮)
- ハンディによるピッキングで、品番・ロット・シリアル管理の精度が飛躍的に向上
- クラウド化により荷主が**いつでもリアルタイムで在庫・入出庫状況を確認**可能に
- ロケーション管理の導入により「物を探す作業」が不要に
- 倉庫内でも大型モニターへのリアルタイム進捗表示により、社内外**情報可視化**を実現



<https://cooola.jp/case/srt/>をもとに弊社作成

システム開発会社の選び方

開発手法の概要

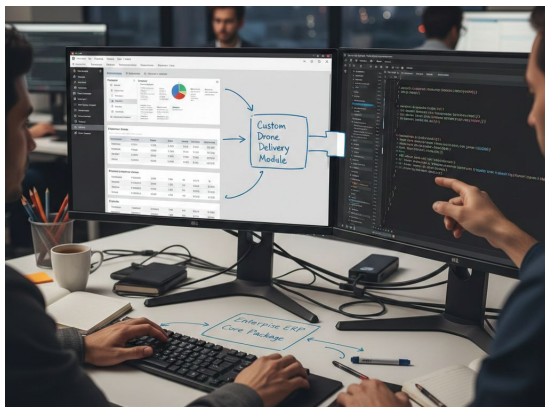
システム導入の際には、以下の3手法が採用されることが一般的

A SaaS・既製パッケージ導入



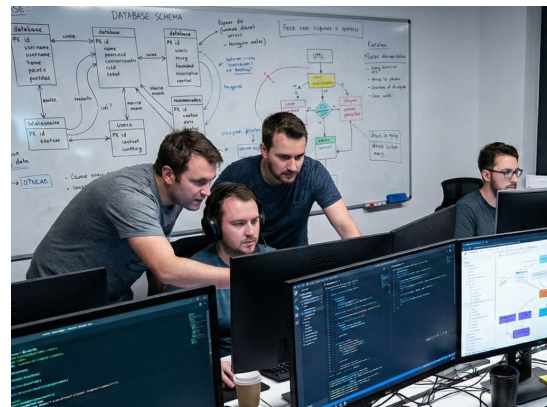
既製品をそのまま利用する手法。会計、人事労務、勤怠管理、経費精算など世の中のベストプラクティスに合わせる」のが正解である業務にマッチ。

B パッケージカスタマイズ



既存製品をベースに、必要な業務を追加開発したり、仕様変更する手法。「基本は一般的だが、業界特有のルールや商習慣がある」業務にマッチ。

C スクラッチ開発



業務に合わせて要件定義し、ゼロから設計・開発を行う手法。「システムそのものがビジネスの競争力」となる業務にマッチ。

2026年の開発トレンド ～AI駆動スクラッチ開発～



AIを活用して開発することで、スクラッチ開発を柔軟化・高速化できるように

AI駆動スクラッチ開発とは

人間から伝えられた開発したいシステムの要求や設計意図に基づき、AIが自律的にシステムの設計・実装・テストを実行する開発手法。AIが自律的にプロセスを進めることにより、開発が柔軟化・高速化されており、人間がより意思決定やレビューに集中することが可能になる。

従来手法との違い

	従来手法	AI駆動開発
運用開始までの期間	数ヶ月～数年 (機会損失大)	最短1ヶ月～
仕様変更への耐性	追加見積り+期間延長	即座に対応可能
納品物の透明性	ブラックボックス化しやすい	ドキュメントをセットで納品可能
リスク管理	PJ終盤での要件不備 発覚リスク大	早期から動くものを見て 軌道修正可能

開発手法別の比較



SaaSやパッケージ活用だけでなく、近年ではAI駆動スクラッチ開発も有効に

	初期費用	開発・導入期間	業務適合性	保守・運用	他システム連携	拡張性
A SaaS・ 既製パッケージ 導入	導入設定費のみ	最短1ヶ月～	業務をシステムに 合わせる	ベンダーに お任せ	ベンダーの提供 する仕組み次第	機能追加・強化を 待つ必要あり
B パッケージ カスタム開発	開発内容に依存	3～6ヶ月	重要な部分は 合わせられる	一部自社側で 調整が必要に なることが多い	柔軟に対応可能 だが、費用が高 額になることも	ベンダーとの 交渉が必要
C AI駆動 スクラッチ開発	必要な機能に 絞った開発が 可能	最短3ヶ月～	100%業務に 合わせられる	自社または委託 先で対応	基幹システム等と の連携も柔軟に 可能	業務や展開先に 合わせて段階的 に拡張可能

受発注・在庫管理システム・開発会社の選定ポイント



単なる機能比較だけでなく、運用の持続性も見据えた検討が必要

チェック項目		チェック
現場業務との整合		
	自社コア業務に最適化されているか？	<input type="checkbox"/>
	システム外で対応する業務の負荷は適正範囲か？	<input type="checkbox"/>
	Excel等で実施するよりも業務を効率化できるか？	<input type="checkbox"/>
	今後の事業・組織拡大に対応できるか？	<input type="checkbox"/>
関連システムとの連携可否		
	外部システムとの連携は可能か？	<input type="checkbox"/>
	連携仕様(連携方式, 連携頻度)は業務に適合するか？	<input type="checkbox"/>
	データフォーマットの違いに対応できるか？	<input type="checkbox"/>
	今後の連携対象システム変更に対応できるか？	<input type="checkbox"/>

チェック項目		チェック
ランニングコスト		
	導入費用は予算内かつ適正か？	<input type="checkbox"/>
	運用・サポート費用は予算内かつ適正か？	<input type="checkbox"/>
	今後の業務変更・拡張時の追加開発費用は適正か？	<input type="checkbox"/>
	ランニングコストを含む費用対効果が妥当か？	<input type="checkbox"/>
社員・ユーザーの ITリテラシーとの適合		
	使い慣れた端末からアクセスできるか？	<input type="checkbox"/>
	普段使う業務用語に対応したシステムか？	<input type="checkbox"/>
	初心者から熟練者まで使いやすい UI/UXか？	<input type="checkbox"/>
	入力・操作時の応答は高速か？	<input type="checkbox"/>
	操作マニュアルなど、サポートは提供されるか？	<input type="checkbox"/>

サービス紹介

お客様のよくある課題



お客様のプロダクト・システム開発における、Quality(品質)・Cost(価格)・Delivery(納期)にお悩みはありませんか？

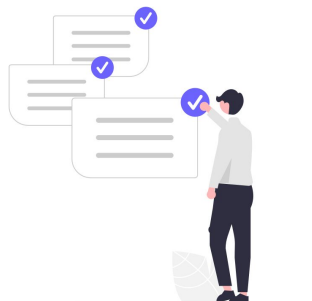
Quality(品質)

- ・要件の認識ズレによる品質低下
- ・不具合や技術的な拡張性の低さ



Cost(価格)

- ・工数拡大による予算超過
- ・仕様追加 / 手戻りによる費用増



Delivery(納期)

- ・スケジュール遅延
- ・仕様変更による進行停滞



事業内容



弊社は、お客様のプロダクト・システム開発における課題に対して、高品質・低コスト・短納期の開発/DX支援を提供いたします

高品質・低コスト・短納期の 開発/DX支援

IT事業会社出身のプロフェッショナルが、事業成果の創出をゴールDX・開発を伴走支援。さらに、標準化された開発アプローチにより、「高品質・低コスト・短納期(QCD)」を両立した支援を実現します。

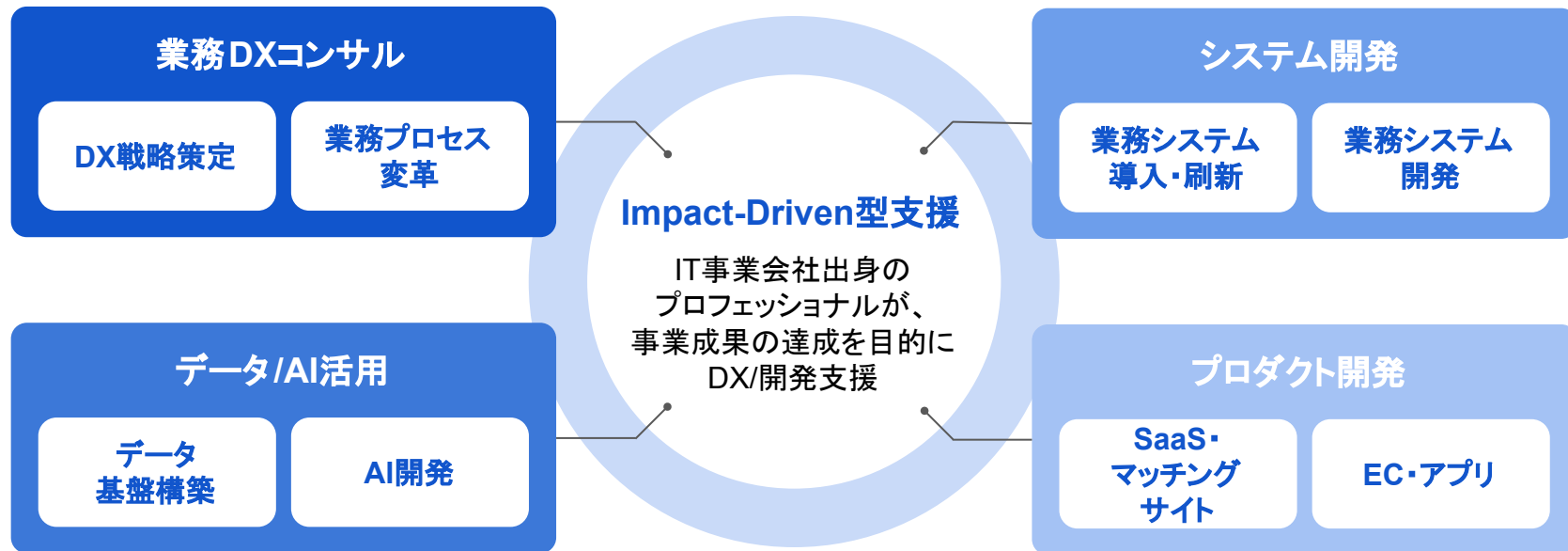


事業内容 ～Impact-Driven型支援～



IT事業会社出身のプロフェッショナルが、「Impact-Driven型支援」を通じて、お客様のDX/開発支援を成功へ導きます

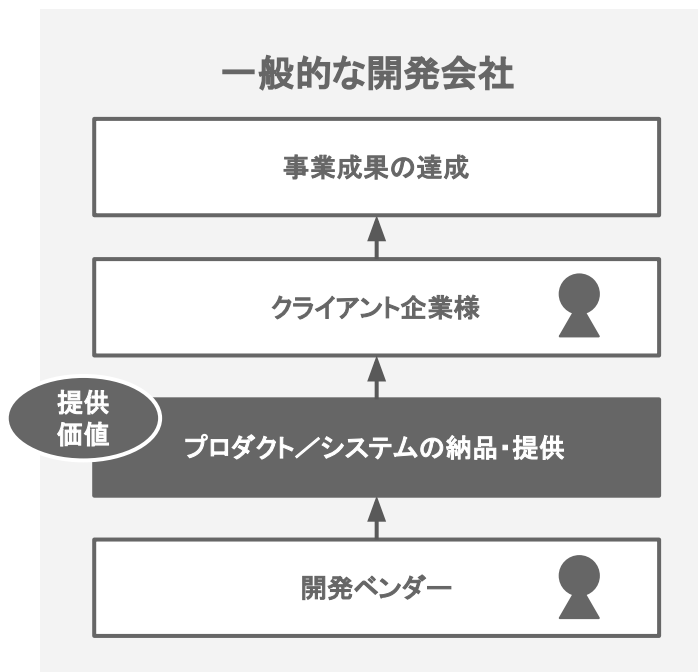
RIPLAが提供するサービス



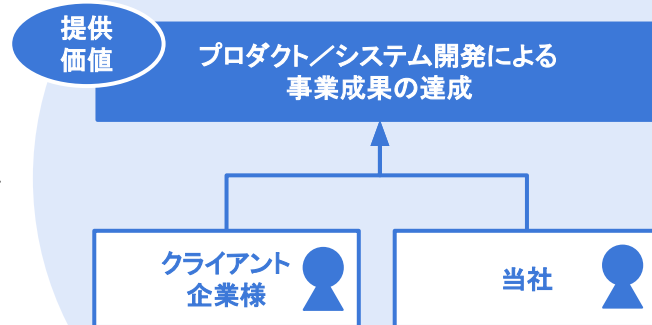
事業内容 ～Impact-Driven型支援～



「Impact-Driven型支援」では、プロダクトやシステムの納品・提供を目的とせず、お客様と同じ目線で、事業成果の達成をゴールとして、高品質なDX/開発支援をいたします



RIPLAの "Impact-Driven型支援"



事業内容 ～Impact-Driven型支援～



具体的な支援手法として、ユーザー価値や組織浸透性を意識した要件定義、中長期の拡張性や内製化を見据えたシステム設計により、事業成果を最大化いたします

事業成果を意識した要件定義

- ✓ 事業成果やユーザー価値を意識した製品の機能企画や UI/UX設計
- ✓ 現場業務や組織浸透性を意識したシステムの要件定義

中長期目線で柔軟なシステム設計

- ✓ 中長期の拡張性や運用を見据えたアーキテクチャ設計
- ✓ 将来的な内製化に向けた採用しやすい技術選定

“Impact-Driven型支援”により、事業成果を最大化

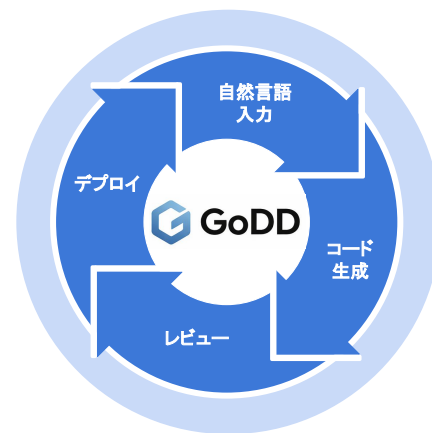
事業内容 ～Boxシリーズ×GoDD～



「Boxシリーズ」による標準機能の高速開発と、「GoDD」による独自機能のAI実装を組み合わせることで、低コスト・短期間で開発を実現いたします

Boxシリーズ

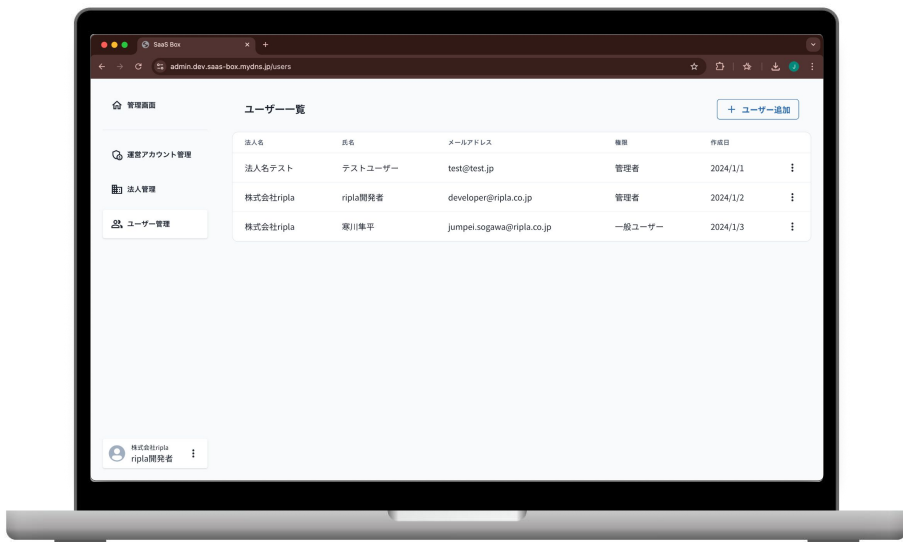
GoDD



事業内容 ～Boxシリーズ～



「Boxシリーズ」は、各プロダクト・システムに必要な標準機能を、モダンな技術と優れたUI/UXであらかじめ実装しており、そのままご利用いただくことが可能です



モダンな技術と優れた UI/UXで
標準機能を搭載

事業内容 ~Boxシリーズ~



各Boxシリーズに搭載されている主な機能は以下の通りです(一部抜粋)

<p>Box名称</p>	 受発注管理 Box	 在庫管理 Box	 配送管理 Box	 業務システム Box	 生成AI Box
<p>機能例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・マスタ管理 (受注/発注/商品) ・受注/発注管理 ・需給予測 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・マスタ管理 (出荷先/入荷元/商品) ・出荷/入荷管理 ・在庫管理 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・マスタ管理 (届け先/商品) ・配送管理 ・配送最適化機能 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理 ・権限管理 ・ユーザー向け画面 ・管理画面 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・AI チャット機能 ・RAG基盤 ・ベクトルDB基盤 ・検証用画面 ・バッチ処理 ・インフラ構築
<p>Box名称</p>	 SaaS Box	 マッチングサイト Box	 EC Box	 アプリ Box	 LINE Box
<p>機能例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・法人管理 ・ユーザー向け画面 ・管理画面 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・マッチング機能 ・ユーザー向け画面 ・管理画面 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・マスタ管理(顧客/商品) ・受注管理 ・ユーザー向け画面 ・管理画面 ・インフラ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン機能 ・ユーザー管理/権限管理 ・プッシュ通知機能 ・アプリUI(iOS/Android) ・管理画面 ・インフラ構築 ・リリース申請 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEログイン ・リッチメニュー基盤 ・LINE配信機能 ・公式アカウント情報連携 ・ユーザー管理/権限管理 ・インフラ構築

事業内容 ～GoDD～



「GoDD」は、人間の意思決定を中心に開発フロー全体を効率化するAI駆動開発フレームワークで、各プロダクト・システムに必要な独自機能の開発を高速化いたします

GoDD AI

開発プロセスを自動化する
強力なAIエージェント



...を実装して



自然言語入力 コード生成 レビュー デプロイ

自然言語で
指示するだけ

GoDD Notes

仕様書をベースにした
コラボレーションツール

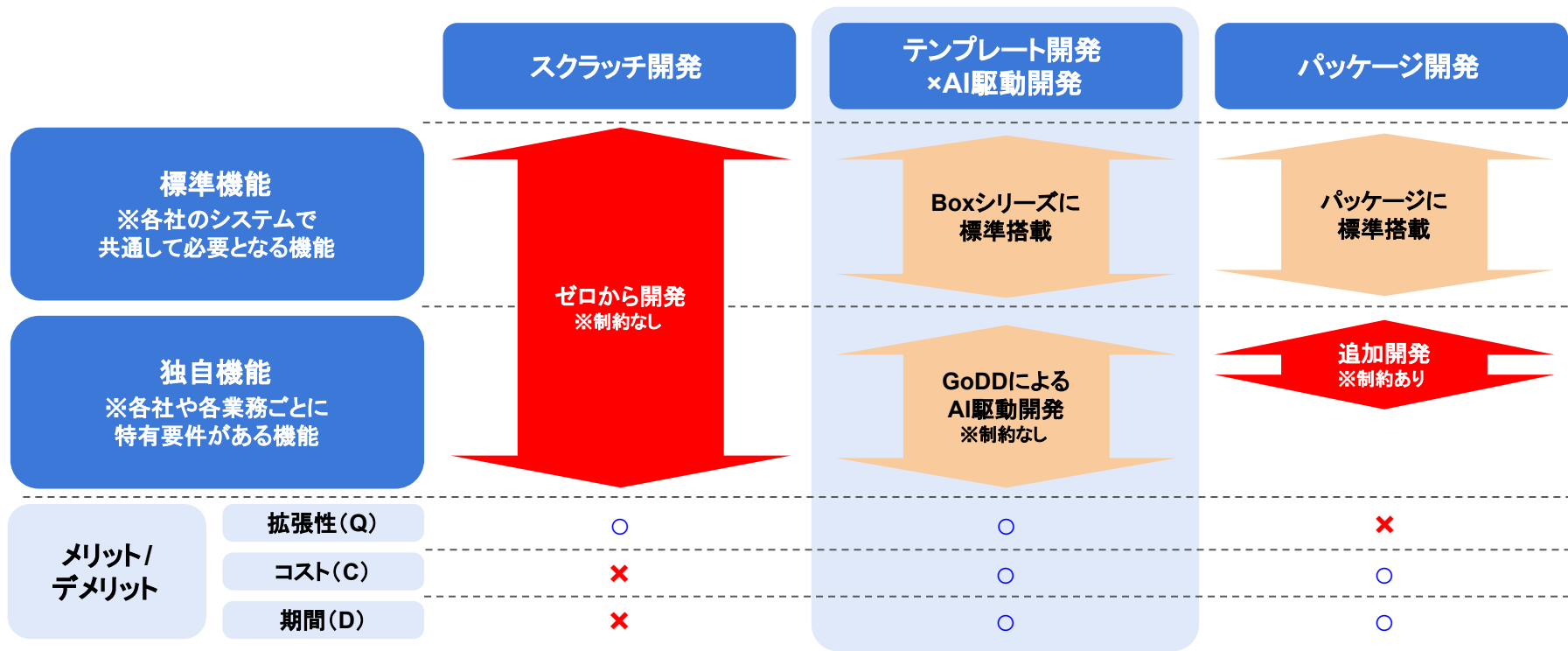


...を~したい

事業内容 ～Boxシリーズ×GoDD～



テンプレート開発(=Boxシリーズ)とAI駆動開発(=GoDD)を併用することで、Q(拡張性)
・C(コスト)・D(納期)の三点両立を実現いたします



RIPLAの対応技術



AI・モダンな技術・クラウド型・APIなどの最新技術を活用することで、新規性のある取り組みや、拡張性や柔軟性の高い開発に対応可能です



AIを活用した業務効率化や 新たな価値創出

AI技術を活用することで、業務プロセスの自動化、レコメンド機能、自然言語処理、画像解析などが可能になります。



モダンな技術を活かした 高品質な開発

最新のモダン技術を活用することで、ユーザビリティの高いUI/UX設計、保守性の高いアーキテクチャを実現します。



クラウド型で拡張性のある システム構築

クラウドインフラを活用することで、柔軟かつ拡張性の高いシステムを構築し、初期投資を抑えることも可能です。



API連携による柔軟な 外部サービス連携

外部システムやSaaSとのスムーズな連携を前提としたAPI設計を行うことで、機能追加や業務連携が容易になります。

RIPLAの対応技術



また、お客様のニーズに応じて、幅広い技術を取り扱うことができます

フロントエンド



バックエンド



AI関連



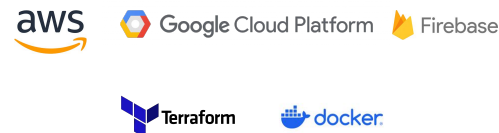
アプリ



DB関連



クラウド技術・その他



これまで多数の業務DXコンサル、データ/AI活用、システム開発、プロダクト開発の支援実績がございます

業務DXコンサル

- ・販売 / 顧客管理システムの刷新
- ・大手建設企業のDX戦略策定
- ・金属商社企業の基幹システム刷新
- ・広告SaaSのマルチプロダクト構想策定
- ・印刷EC新規事業の構想策定など

データ/AI活用

- ・訪問看護のAI FAQシステム
- ・AIデータ分析SaaS
- ・ホテル向けのデータ基盤構築
- ・AI画像解析による商品棚在庫管理
- ・コーチングのAIチャットボットなど

システム開発

- ・物流系WMS / OMS
- ・ガソリンスタンド受発注管理システム
- ・営業ナレッジマネジメントシステム
- ・訪問看護のスケジュール管理システム
- ・ドローン機器管理システムなど

SaaS

- ・研修管理 / 学習管理SaaS
- ・LINEチャットボットSaaS
- ・SFA / CRM SaaS
- ・設備保全管理SaaS
- ・採用管理SaaS など

マッチングサイト・EC

- ・インフルエンサーマッチングサービス
- ・求人検索メディア
- ・美容師マッチングサービス
- ・ビジネスマッチングサービス
- ・オンラインチケット販売EC など

アプリ

- ・献立共有アプリ
- ・旅行ガイドブックアプリ
- ・医療用スマホアプリ
- ・スポーツゲームアプリなど



RIPLA